

〈1968年〉のビートルズ ——その歴史的意義

中条省平 (フランス文学者)

文学、映画、マンガについて精力的に評論を続ける筆者の原点にはビートルズの存在があった。世界が反戦運動と革命の機運に揺れていた1968年にリリースされた傑作2枚組『ザ・ビートルズ』のもつポストモダン的な価値と意義を解説する。

ら近代（モダン）が始まります。次は一七八九年。フランス革命が起こった年で、これにより、世界が中道自由主義を主導的な方向として進むことが決定づけられました。最後は一九六八年。フランス革命以来の中道自由主義の安定が覆された年です。世界中で若者たちがあらゆる社会的制度に反逆して、アメリカの覇権に異を唱え、同時に、反対勢力であるはずのソ連もアメリカの秩序維持に加担していることを暴きました。しかし、この若者たちによる反システム運動も新しい方向を示すことなく挫折しました。つまり、この年以降、世界史はポストモダン、すなわち近代世界システムの危機的状況に突入し、その価値観の混沌は現在までも続いているわけです。

この世界史の断層としての（一九六八年）の意義を、文化の世界で最も鮮やかに体現した存在がビートルズです。

世界的な文化の激変期

社会経済史学者のイマニユエル・ウオーラー・ステインは、その近代世界システム論のなかで、世界史の変化を決定づける年代を三つ挙げています。一つは一六世紀。世界が一個の経済・社会システムとして活動を開始した時期です。ここか

ウオーラー・ステインは話を劇的にするために（一九六八年）という年を特権化しましたが、この時期の根源的な変化がわずか一年にきつちりと収まるはずありません。政治的状况よりも

ゆるやかに変化が起こる文化の世界においては、一九六八年を中心に前後二年ほどの幅をもって変化の時代と考えるほうがいいでしょう。一九六六〇七〇年が世界的な文化の激変期と呼ぶべき時代であり、それはまさに、ビートルズが音楽的実験と思想的探求を過激化させ、加速度的に突っ走ったあげく、唐突な解散に至った時期と正確に一致しています。その歴史的事実は、私自身の経験でも、いまだに鮮やかに身体的な記憶として刻まれています。

ビートルズは単なる音楽的現象ではなく、もっと大きな歴史的变化の体現者だったので。と同時に、ビートルズの活動そのものが時代の文化を変えていきました。その意味で、ビートルズは歴史の変化を体現しただけでなく、歴史の変化を作りだし、加速させていきました。ビートルズは歴史の変化の結果であり、歴史の変化の原因でもあったのです。そのダイナミックな相互作用のなかにビートルズという文化的存在の特別さがあります。

私は一九六七年に中学に入りました。一九六七年は、世界の先端的な文化に関心を注ぐ日本の若者にとって重要な年でした。ビートルズの『サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド』が売られだされ、ジャン・リュ



ストロベリー・フィールド。ジョンが暮らしていたミミおばさんの家から数分のところにある。2021年春。撮影＝園部哲

ック・ゴダールの『気狂いピエロ』が公開され、ジョン・コルトレーンが急死したのです。この世界文化の最先端を揺るがす三大事件は、日本ではことごとくこの年の七月に起こりました。一九六七年七月は私の人生において最も暑い夏になるはずでした。ところが、間抜けにも、私はこれらの事件を数カ月もあとになって知ったのです。その悔しかったこと！ ビートルズもコ

ルトレーンもレコードを全部聴き、ゴダールの映画も全部見てやると決意したのは、その悔しさが最大の原動力でした。

中学一年の私は級友から「いま世界でいちばん進んでいる音楽だ」と教えられて『サージェント・ペパーズ』を聴いてビートルズに夢中になり、それまでの空白をとり戻そうと、すぐに『オールディーズ』を買いました。ビートルズの

主なシングル・ヒットをまとめた盤で、発表されてまもなくだったせいか、当時のレコード屋にはたくさん並んでいたのです。緊密な出来ばえの『サージェント・ペパーズ』より、こちらのほうがさらに衝撃的でした。何百回聴いたか分かりませんが、いまでもこのLPの収録順にヒット曲が甦（よみがえ）ってきます。メロディ、リズム、ハーモニーはどこをとつても眩暈（めまい）がするほど魅力的でしたが、何より凄いのはそのエネルギーで、世界中がビートルズに熱狂した理由が体で分かりました。もうビートルズなしではいられなくなつたのです。

「いちご畑は永遠に」

しかし、そうした音楽的魅力と爆発的なエネルギーを超えて、ビートルズが、たとえばアルチュール・ランボアの詩に匹敵するような未知の異世界への道を開いていることを教えてくれたのは、これも発表されてまもないシングルでしたが、〈ストロベリー・フィールドズ・フォーエヴァー〉と〈ペニー・レイン〉のカップリング盤でした。

〈ストロベリー・フィールドズ〉は、『オールディーズ』のビートルズとはちよつと異なる不思議